

# 高齢者の生涯現役・社会参加に関するイメージ(案)

福祉側

⇒ 就労機会の拡大

生涯現役・社会参加

経済側

⇒ 高齢者雇用の裾野拡大

起業・雇用創出

新たな施策の  
検討による対応

生きがい・健康づくり

- ・ボランティア
- ・生活支援、支え合い
- ・生涯学習
- ・レクリエーション
- ・娯楽・趣味 等

老人福祉センター  
社協 等

軽易な就労

- ・清掃
- ・駐車場管理 等

シルバー人材  
センター 等

中間的な就労

- ・企業や地域における  
週3日程度の就労

行政サービス

行革審の対象範囲

雇用

- ・企業におけるフルタイム中心の  
雇用(継続雇用)

ハローワーク、商工会議所 等

現行の取組の改善・充実による対応

※網掛け部分は、「高齢者の就労促進に関する検討会議」での検討対象範囲

※第2回、第3回の審議内容(イメージ)

【行財政改革の視点】

- 官民連携の推進と民間活力の活用
- 効率的な組織体制の確立
- 人材育成・活用の推進



【事例と審議の方向】

- 行政サービスに関する業務(行政事務、委託業務等)、民間における高齢者就労の先進例など
- ⇒ 業務分類、環境整備等による就労の場の創出
- ⇒ 就労の場の効果的な情報提供等の方法(プラットフォーム) など